

教育心理学

専門教育科目／2単位／M授業

担当教員 田中 陽子

■使用テキスト メディア視聴

◆参考テキスト 櫻井茂男(監修)『実践につながる教育心理学』北樹出版 2012

講義概要・一般目標

教育心理学は、教育をより効果的なものにするために心理学の分野で明らかにされた事実を教育の分野に応用したり、また教育に関するさまざまな問題や諸現象について心理的な視点から解明したりすることで、教育の心理学的側面からの理論的な体系化や教育実践の方法を開発する分野である。本講義では、教師の資質を高めるために、教育に対して心理学がどのように寄与しているか、その基本的な知識と技法を習得することを目的とする。

- 1) 教育心理学とは
- 2) 【子どもの発達と学習①】：人間の心とからだはどのように変化していくのだろうか？
- 3) 【子どもの発達と学習②】：子どもの行動はどうやって身につく？
- 4) 【子どもの発達と学習③】：知識をしっかりと身につけるには？
- 5) 【子どもの発達と学習④】：「考える」とはどういうことだろうか？
- 6) 【子どもの発達と学習⑤】：意欲を高めるためにどうすればよい？
- 7) 【子どもの自己、人間関係、集団①】：自分らしさってなんだろう？
- 8) 【子どもの自己、人間関係、集団②】：子どもは人間関係の中でどのように成長する？
- 9) 【子どもの自己、人間関係、集団③】：学級における教師と子どもとの関係
- 10) 【子どもの自己、人間関係、集団④】：学級における仲間関係
- 11) 【個人差の理解と指導①】：子どもの不適応をどう理解し、対応すればよい？
- 12) 【個人差の理解と指導②特別支援教育を踏まえて】：発達のつまずきってなんだろう？
- 13) 【個人差の理解と指導③特別支援教育を踏まえて】：発達障害のある子どもへのアプローチ
- 14) 【個人差の理解と指導④】：どのように学習を指導すればよい？
- 15) 【個人差の理解と指導⑤】：教育評価は何のために行うのか？

到達目標

- 1)子どもの発達について理解し、教育に活用できる。
- 2) 学習の心理学を理解し、指導に活用できる。
- 3) 個人と集団の心理について理解し、指導に活用できる。
- 4) 学校不適応の問題について理解し、指導に活用できる。
- 5) 教育評価について理解し、説明できる。

評価方法

科目単位認定試験により評価。